

『ごみ減量』へトライ!チャレンジ!

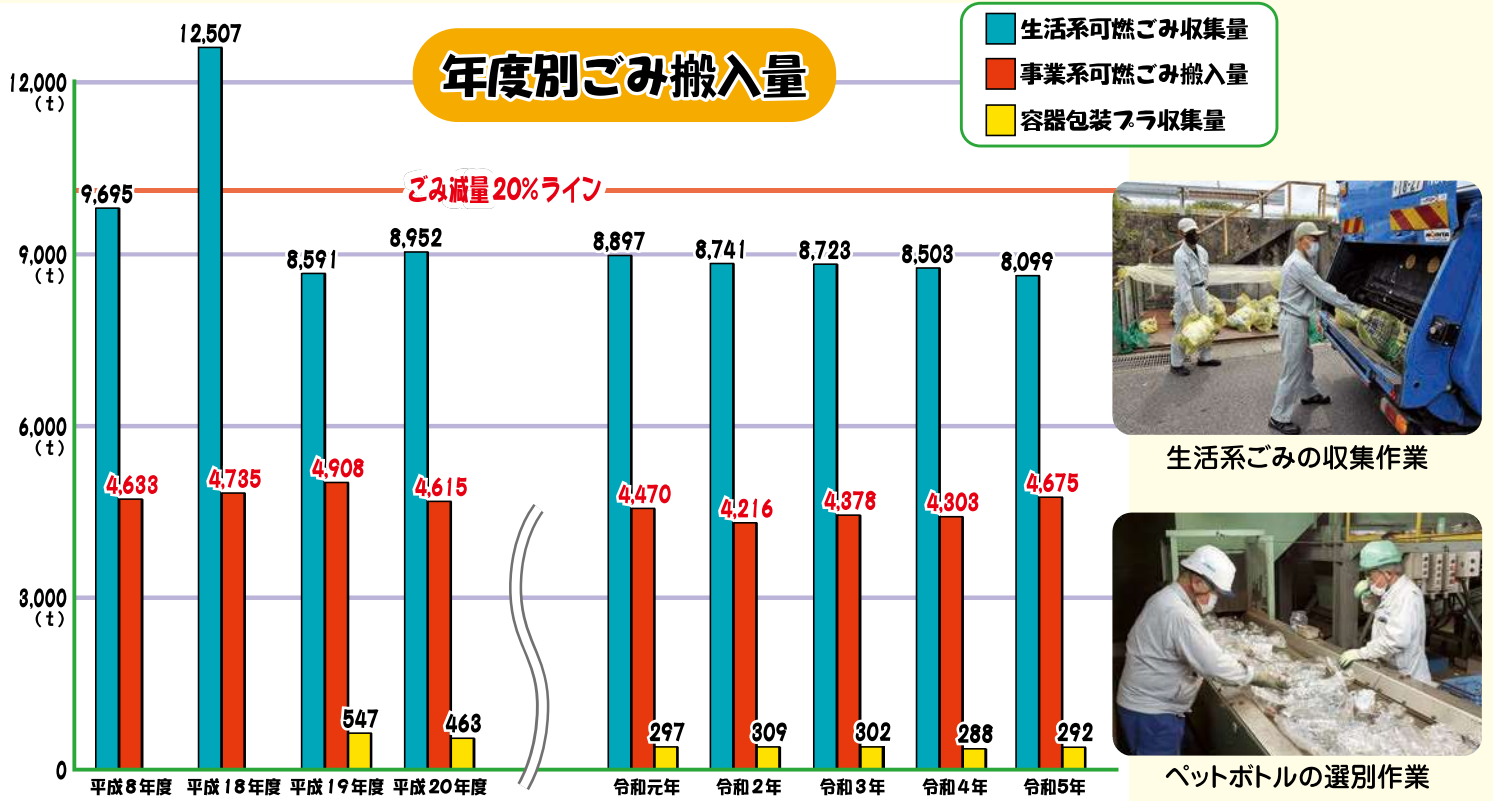


皆さんのごみ減量運動へのご理解とご協力により、令和5年度も前年度と比べ、一般家庭から排出される生活系の可燃ごみ収集量は減らすことができました。

一方で、剪定くずや道路・河川の除草作業に伴う草ごみ等の事業系の可燃ごみ搬入量は大幅に増加しました。

西脇市と多可町では、『ともに進める“ごみ減量”と“資源循環”～もったいない!の心を行動へ～』を基本理念に、循環型社会形成に向けた取り組みを進めています。

今後も生活系ごみ、事業系ごみともに、減量化・資源化に繋がるようご協力をお願いします。



●生活系の可燃ごみ収集量は前年度より減少(4.8%減)

●事業系の可燃ごみ搬入量は前年度より増加(8.6%増)

令和5年度ダイオキシン類の測定結果

ごみ処理施設から発生する排出ガス及び周辺環境におけるダイオキシン類の測定を実施しました。測定した結果は次のとおりです。今後も安全・安心な運転管理に努めていきます。

1 1	ごみ処理施設 (令和5年度6回実施分)	排出ガス	0.015~0.36ナノグラム/平均値0.17ナノグラム (ng-TEQ/m ³ N) ※法律で定める基準値/5ナノグラム以下
		みどり園周辺環境 (みどり園から2km以内の地点)	
2		①一般環境大気	0.0054ピコグラム/2箇所での最高値 (pg-TEQ/m ³) ※環境基準値/0.6ピコグラム以下
		②環境水(湧水)	0.13ピコグラム/3箇所での最高値 (pg-TEQ/m ³) ※環境基準値/1ピコグラム以下
		③土壌	1.6ピコグラム/3箇所での最高値 (pg-TEQ/g) ※環境基準値/1000ピコグラム以下



大気中の排出ガスを測定中

●微量物質の単位● ng(ナノグラム)=10⁻⁹(10億分の1グラム) Pg(ピコグラム)=10⁻¹²(1兆分の1グラム)

東京ドームに相当する体積の入れ物を水でいっぱいにした場合の重さが約1,000,000,000,000(1兆)gです。この中に角砂糖1個(1g)を溶かし、その水1ccに含まれている砂糖が1pg(ピコグラム)になります。

●【TEQ】とは●

毒性等量と言い、ダイオキシン類の中で最も毒性の強いと言われていた2, 3, 7, 8-TCDDの毒性を1とし、ダイオキシン類のそれぞれの異性体の毒性を2, 3, 7, 8-TCDDに換算して合計したもの